

ケネル訪問団来町 町民と交流

白老町の国際姉妹都市、ケネル市（カナダ）の訪問団が8月1日～4日に来町し、町民と交流しながら日本文化を楽しみました。

来町したのはロン・ボールケネル市長、ケネル市白老姉妹都市協会のジュリアン・ランジ会長ら高校生7人を含む13人です。1日の役場の訪問では、一行が正面玄関で職員の歓迎を受けたほか、大塩英男町長が「ようこそ白老へ。短い滞在ではあるが、町民やホストファミリーと深く交流し、白老町を理解してほしい。これまで築いてきた交流の絆が今後も絶えることなく、多様な親善交流を。多くの町民との交流を通して日本の文化、生活習慣に触れてほしい」と歓迎しました。ジュリアン会長も「2028年のケネル市100周年はみなさんにも来てほしい」と話しました。

訪問団は町内にホームステイしました。2日はそば打ち体験や町内散策、3日はウポポイや仙台藩白老元屋資料館などを見学し、日本の文化に触れました。



歓迎を受けるケネル代表团

陣屋の日イベント2025

仙台藩白老元陣屋資料館で8月10日、陣屋の日イベントが開かれました。よろいかぶとの試着体験やヨーヨー釣り、せんべい焼きなどの体験メニューが行われ、町民ら70人が陣屋の夏を満喫していました。

よろいかぶとの試着体験も行われた
陣屋の日



よろいかぶとの試着体験

図書館一日司書

町立図書館で8月6日、子どもの一日司書が行われ、小学生が貸し出しなどの作業を学び、図書業務への理解を深めました。

森誠一館長から一日司書の辞令を受けたのは伊東紗英さん（白老小3年）です。職員から説明を受けた後、本のカバー掛けや返却処理を体験しました。伊東さんは「図書館の業務を詳しく知ることができました」と話していました。



図書業務に取り組む伊東さん